



免疫力は、母親の胎内にいる時から形成され、乳幼児期の環境や食習慣も大事なようです。院長は幼児期に胃腸が弱く、何を食べても下痢をしたそうですが、かかりつけ医が「気にしないでなんでも食べさせなさい。」と指導し、ビオフェルミンを食事のように食べてからどうにか成長しましたが、栄養不足で「赤毛の一本並び」と言われていたようです。

院長は、今でも抗生物質に弱く体調を崩すので、風邪を引きそうになるとオリーブ葉エキスを大量に摂取します。私は、あまりその効果を期待していませんでしたが、私も抗生物質が腸内環境を崩すようになったので、摂ってみると風邪をひかないで済み、その効果に驚いています。身体が弱いと薬やサプリの効き具合もよくわかりません。身体に害のない、効果的な免疫力の強化のためにハーブは大きな効果を持つようです。土地を取得したのでハーブを育てて、その効果を皆さんにも、これから披露していきたいと思っています。

院長の母が10月に88歳で亡くなりました。満州で舞や琴やピアノを習って何不自由なく育ったようですが、母親が急死したので、女子大を辞めて渡った敗戦で、頭を散切りにして顔に墨を塗り付け、病弱な姉や産まれたばかりの甥を負ぶって帰国した時の苦労話は何度も聞かれました。帰った時には不在地主で何もなくなっており、大家族の内田家の嫁に入り、苦労を重ねたようです。

「良子の子供の頃は何も覚えていないのよ。」と申し訳なさそうに話していました。娘の為に毎朝、水垢離をとって願を掛けていたと、死後に他の人から聞きました。我が家に来た時には、結婚以来弾きたくても弾けなかったピアノを嬉しそうに弾いていました。院長の兄は4期に亘って鹿嶋市の市長をしていましたが、この春に退職したので、選挙の重荷から解放された安心もあったのでしよう。あつという間の死でしたが、大家族に囲まれての大往生でした。死を前にして人生の罪の清算を問うと、神の前に悔い改めの祈りをしてくれました。覚悟を決めた腹の座った人でした。

私も4キロ痩せて身体が楽になりました。手や足の裏が痺れていたのが治ってきました。あと20年は現役で働くために夫婦で身体に負荷を与えて鍛錬しています。103歳の日野原医師は牧師の息子だそうですが、神に仕え、人に仕えて人生を全うしたいと、私たちも考えています。

事務長 柏崎久雄

* 11月7日(金)、21日(金)、院長が院外検診の為、午後の診察は3時からとなります。

* インフルエンザの予防接種(3240円、3歳以下2500円)の予約は必要ありませんが、ご希望の方は、午前は9時迄、午後は通常の受付時間内にお越し下さい。当院のワクチンはメモロサルが含まれておりません。千葉市の高齢者助成は12月31日までで満六十五歳以上で、自己負担1500円(生活保護、市民税非課税世帯は無料)です。

* 水痘ワクチン(自己負担なし)、成人用肺炎球菌ワクチン(4700円の自己負担)が定期接種となりました。(生活保護、市民税非課税世帯は無料)。年齢や持病等により変わるので、助成対象者に関しては、お問い合わせ下さい。

* 栄養指導や個人的ご相談、セカンド・オピニオンなど、内容をお伝えの上、予約をお願いします。予約がなく、詳細なご説明を求められても、対応ができません。発達障害の治療には、説明が必要のため、ご予約がないと対応ができません。キャンセルの場合はお早めにご連絡ください。栄養指導枠のキャンセル待ちの方がおります。

* ㈱ヨーゼフでは、11月8日まで「ヘム鉄」と「亜鉛」、11月一杯「オリーブ葉エキス」のキャンペーン販売を行います。詳細は店頭でご確認ください。

感染症又は感染症疑いの方は、入口、診察室、会計の流れが異なります。

風邪、水ぼうそう、おたふくかぜ、インフルエンザ、はしか、風疹等の感染症の方、又はその疑いの方は、来院時は正面入口横の中央通路わきのインターホンで受付までご連絡下さい。問診票を廊下でお渡ししますので、2階第2診察室待合室にてご記入下さい。診察後のお会計は、処方内容が確定してから、1階に降りて下さい。トイレ後のハンドソープによる手洗いの実施にご協力下さい。

聖書を読む会

11月18日(火)午後2時~2時20分
当院待合室にて行います。
どなたでも参加できます。

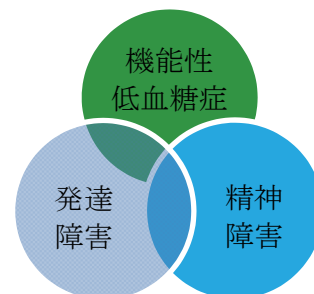
＜低血糖症治療の会から障害治療研修所へ＞

マリヤ・クリニックは、一般的な治療を大切にしながら、治らないとされていたり健全な治療法を取っていないと思われる病気や症状に対して治療を先駆的に研究し実践してきました。その治療を紹介する書籍としては、1997年に『栄養療法の手引』、2001年に『栄養医学の手引』、2004年に『低血糖症治療の手引』、2007年に『低血糖症と精神疾患治療の手引』、2008年に『栄養医学ガイドブック』、2011年に『低血糖症治療体験集』と『神のデザインによる医療』、2014年に『発達障害の治療の試み』などを出版してきました。機能性低血糖症の治療のために栄養療法から分子整合栄養医学に展開し、その間、高濃度ビタミンC点滴療法を日本で最初にガン治療に採り入れたり、腸内環境の改善に努めたりして、現在は発達障害の治療に多くの成果を得ています。

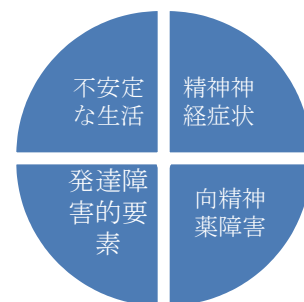
低血糖症治療の会は2006年から活動を始め、2009年に一般社団法人格を取得して「一般社団法人低血糖症治療の会」として、治療の研修、会員相互の交流、低血糖症の啓発、保険治療への働き掛けその他を行ってきました。研修会は22回に及び、厚労省への働き掛けや全国の県市町村議会における決議も多く得てきました。患者さんとの交流や講演の意義は大きく、確かに会の働きは、低血糖症の治療とその発展に大きく貢献してきました。

1. 障害を治すことができるのではないか。

先日の低血糖症治療の会で、院長の講演では右図のように内科的治療だけで治る機能性低血糖症と、精神障害や発達障害の分野にも入る機能性低血糖症があることを説明しました。私どもが機能性低血糖症の治療を進めていくうちに、精神障害と言われる症状の治療にも成果を得ただけでなく、発達障害の治療にも成果を得てきたことは、これまで報告してきたとおりです。



ただ、一般の医療機関や医師の見解では、発達障害や精神障害などの「障害」と呼ばれているものは、身体障害と同じように治療は困難であり、支援として状態や症状の軽減を目的とされています。精神障害については、その治療の困難性は、右図のように治療以外の他の要因が複雑に入り組んでいることにもあると私どもは捉えています。むしろ、精神障害や神経障害が専門ではないので、断定的なことは言えませんが、内科治療としての限界は精神科治療の限界とも同様なものではないかと捉えられるのではないのでしょうか。つまり、精神症状としての不確定要因ですが、それは医療機関としての治療の限界でもあります。

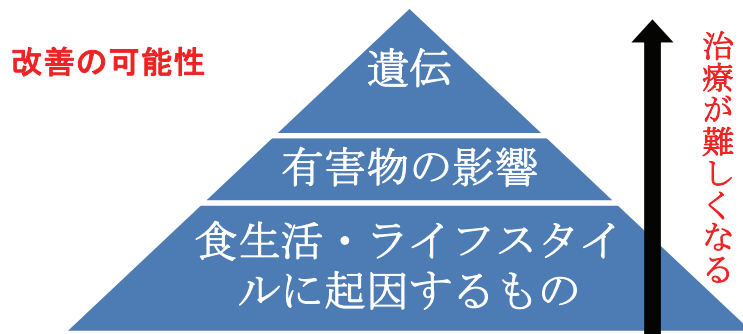


基本的に、私どもはその精神症状としての不確定要因を、内科的に具体化して捉えようとし、治療困難な場合を以下のようにまとめてみました。無責任のようですが、その他のことに関しては専門外であり、確認しようがありません。ただ、私どもは内科的な治療を試みるだけです。精神に関して、うつになる場合もあり、青年期特有の心の変動もあり、情緒的に不安定になる環境もあり得ます。それらのことに関して、安定させようとして向精神薬を処方するよりも他の手段があるのではないかというのが、私たちの立場です。

- 生活習慣が身に着かない。
- 症状がなぜ起こるか知識を身につけない。
- 運動をしない、行動をおこさない。
- 感情が先に立ち、体力の調整ができない（神経過敏症状が強い）。
- 胃や腸での栄養の消化吸収力が低い。
- 自分の考え方、体質や生活習慣などが変えられない。
- 神経過敏症状が強く、全体のバランスがとりづらい。

精神神経症状をもたらす原因として内科的に治療研究をしてきた結果、有害ミネラル・脳にアレルギー症状をもたらす未消化物・腸内の悪玉菌から作られる神経伝達物質様の有機酸その他の

ものを見出してきました。精神症状をもたらすブラックボックスを具体的に解明することが、患者さんたちにとってどれだけ意義のあることかを、治療の会の研修と交流の中で、私たちは確認してきたのです。それは、単に機能性低血糖症の治療に限定しないで、訪れる患者さんの症状の改善に取り組んできた成果です。そして、これらの改善のために治療のための理論を学び、研修をし、そして交流の中で実践する意識を持つ治療の会の意義があるのです。

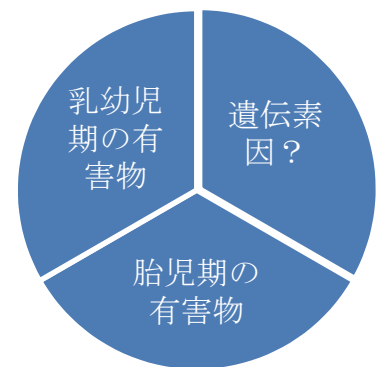


上図の遺伝素因と言われていたものを、私たちは発達障害の治療で少しずつ解明してきたのです。そして、「障害」と言われたものを治療可能なものとして解明するのが、私どものクリニックの方向性です。日本では、殆どされていないのではないのでしょうか。

実は普通に暮らしている人にも、発達障害的な要素は多分にあることが指摘されています。しかし、発達障害としての認知が進んでくると、その改善のために医療機関に通い、保険医療には病名適用が必要なので、発達障害が診断されるようになります。しかし、その上で発達障害は治療が難しく、支援が必要なものとされ、障害認定としての補助が行われますが、障害自体の改善や治療は行われません。遺伝子研究では、発達障害者に特有な遺伝子は解明されていないようです。私たちは、発達障害を胎児期・乳幼児期に脳神経に与えられた害によるものとしています。そして、その時期の妊婦や胎児・乳幼児のケアをする必要を訴えたいのです。

しかし、私たちの発達障害の治療にも限界があります。5歳くらいに脳が完成してくるので、その後の治療は、症状の緩和に向けられます。十分な治療とケアによりかなりの程度で治る場合があるようです。機能性低血糖症としての症状に発達障害的な要素がある場合にも、その治療には多くの時間と努力が必要であり、限界がある場合があります。精神障害の方で発達障害の症状を呈する場合も同様です。

精神障害者の治療をして、向精神薬を服用した方の治療の困難性を確認しています。向精神薬は中枢神経に作用するので、身体の各部に大きな影響を与えます。外国では子供への処方禁じられている向精神薬が日本では安易かつ多剤が処方される場合があります。私たちの治療では、成人に対しても大きな改善成果を確認していますが、向精神薬を長期に摂取した場合には、効果が難しくなります。



2. 「障害治療研修所」への名称変更

これは、理事長としての会員の皆さん及び理事の方々への説明とお願いの内容です。さらに、発達障害の患者さん及びご家族への参加の呼び掛けです。これまで、「低血糖症治療の会」の活動によって、その治療が進展し、社会にも大きく認知されるようになってきました。発達障害の患者さんに関しても、その障害を治そうとするよりも、治らないという前提の中で支援と交流に限られた活動は、全国にあるようです。「治るかもしれない、という思いを与えることで、いたずらに障害者を興奮させないで欲しい。」という方々もおられるとは思いますが、私たちは「障害」を治そうとし、その研修と交流の場を提供することを意義あることと考えております。精神障害者であると診断されてきた方々が、機能性低血糖症であることを血液検査で確認し、治療を

始められたように、発達障害とされてきた方々にも、検査と治療と改善の機会を提供することが、この会の発展的意義であると考えています。

「一般社団法人低血糖症治療の会」から

「一般社団法人障害治療研修所」への名称変更を提案します。

そして、その中に「低血糖症治療の会」と「発達障害治療の会」という二つの会を設けるのです。それぞれで、会員の研修と交流の機会を提供します。加える活動としては、MYビル3階に研修室を設け、小規模の研修会（2時間程度）を持ちます。定員は10名程度の予約制として、希望があれば曜日や時間帯を調整して開きます。

マリヤ・クリニックでは、特に発達障害の子供たちとその家族に対して、ゆっくりと過ごしながら研修や交流をする施設を購入しました。数年かけて整備する予定です。発達障害の子供たちの治療の重要性は、非常に大きいものです。私たち夫婦にとっても、まだ研究中のことであり、保護者やご家族のご意見も聞きながら、治療を改善していきたいと考えております。そして、このことは機能性低血糖症の治療にも大きく貢献することでしょう。

精神症状の改善は、確かにブラックボックスですが、人の尊厳を中枢神経に作用する薬で操作することに関しては、私たちは違和感を抱いています。処方が必要な場合があることは認めますが、処方が安易であることが多いように感じます。

このような治療は、患者さんからの期待も多く、だからこそ、興奮したり誤解した方々から批判や非難を受けることも多くあります。実際に対応しているのは、私たち夫婦と長男です。職員もよくやってくれています。しかし、患者さん及びご家族のご協力がなくして、この活動を継続及び発展させていくことはできません。一般社団法人低血糖症治療の会の理事の方々は、本当によく助けてくださいましたが、少し高齢化してきているようです。

これは提案です。ご意見をお寄せ下さい。メールが便利です。ファックスでも構いません。

- ① 「障害治療研修所」案について
- ② 会員になる（2年で2000円）
 - A. 低血糖症治療の会
 - B. 発達障害治療の会
- ③ 理事の立候補。（担当を持って活動することが可能かどうか確認させていただきます。）
- ④ 活動内容の提案
- ⑤ 寄付（あまり大金は困ります。）
- ⑥ 私たちへの要望
- ⑦ 新たな出版書籍への要望

※ 治療に関する保険適用の活動は、あまりに困難で労が大きいので諦めました。

※ 講演活動は、具体的な患者さんが集まるものならば出向きますが、営利活動ではないので、会費制で交通費の負担をお願いします。院長の講演はありません。

《 診 療 時 間 》

月曜～金曜（午前8時30分～12時10分、午後2時30分～5時30分）

土曜（午前8時30分～12時10分、午後2時～4時）

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・小中台小学校校医
- ・栄養療法(分子整合医学)



(携帯サイトへ)